

Sinfonia

シンフォニア

煌めく 若き俊英の音色

# イム・エンチャン

ピアノ・リサイタル

Yunchan Lim Piano Recital

— Close Up —

ジルベスターコンサート 2023 / ニューイヤーコンサート 2024

オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023

運命 × カルミナ・ブラーナ

横坂 源 チェロ・リサイタル -悪魔のロマンス- インタビュー vol.1

ほか

The Symphony Hall

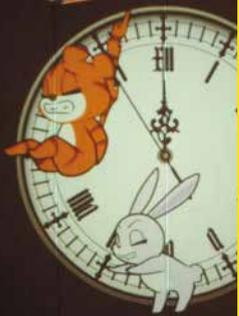
# SILVESTER CONCERT 2023

ジルベスターコンサート 2023

# NEWYEAR CONCERT 2024

ニューイヤーコンサート 2024

新春の鏡開き



Special Event

年末の聴き納めと、年始の聴き初めは  
ザ・シンフォニーホールで！

ロビーに花や樽酒を設置した正月仕様の演出でお出迎え。

新春の鏡開きや祝い酒をご用意して、皆さまのご来場をお待ちしております。



祝い酒をご用意

彩り溢れるロビー



HAPPY NEW YEAR

The Symphony Hall





シンフォニア

www.symphonyhall.jp

contents

Vol.60

2023.11-2024.1

2023.11.10 発行

- 2 ジルベスターコンサート 2023/ニューイヤーコンサート 2024
- 4 オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023
- 6 古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック スtrings～愛のクリスマス2023～
- 7 ザ・シンフォニーホール クリスマスオルガンコンサート 2023 大木麻理インタビュー
- 8 The Symphony Hall Big Band vol.21 -ダンディズム- / vol.22 ～タンゴ・タンゴ・タンゴ2～
- 9 The Symphony Hall 年末スペシャルコンサート The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICOS ゴスペル/「Plus deミュージカル」～ハッピー・バレンタイン
- 10 運命×カルミナ・プラーナ
- 12 横坂 源 チェロ・リサイタル -悪魔のロマンズ- インタビュー vol.1
- 13 オルガン名曲決定版 2024 富田一樹インタビュー vol.2
- 14 前橋汀子 ヴァイオリン・スペシャル・コンサート
- 15 イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル
- 16 川井郁子 シンフォニックコンサート 2024 Passion in Blue ～情熱のヴァイオリン～
- 17 仲道郁代 ショパンを弾く～円熟と哀しみ～ 珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.8 ～モリコーネに思いをよせて～ 荒 庸子 チェロ・リサイタル 2024
- 18 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶BEST Osaka Shion Wind Orchestra 第152回定期演奏会
- 19 ニューイヤー祝祭コンサート オペラアリアとバレエの饗宴 Vol.9 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール
- 20 関西4オケ Pick Up コンサート
- 22 ABCテレビ主催公演:イベント情報
- 26 日本センチュリー交響楽団
- 28 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.6
- 29 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.60
- 30 ホールトピックス
- 31 Concert Calendar 2023.11～2024.1

## ザ・シンフォニーホール子供鑑賞体験支援事業

# 18歳以下限定 子供無料招待席のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる子供たちの実演芸術の鑑賞・体験等を提供する取組を文化庁支援のもと行うことが決定いたしました。

ザ・シンフォニーホールでは下記の公演で子供無料席を設け、18歳以下の皆様を公演にご招待いたします。下記の要領をよくご確認いただき、奮ってご応募ください。

### 対象公演

2023.10/21(土) 3:00PM

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

[対象]中学生以上 18歳 **終了しました**

[応募期間] 5/28(日) 12:00～9/30(土) 16:00まで

2023.11/3(金・祝) 3:00PM

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

[対象]中学生以上 18歳 **終了しました**

[応募期間] 5/28(日) 12:00～9/30(土) 16:00まで

2023.12/31(日) 5:00PM

ジルベスターコンサート2023

[対象]小学生以上 18歳以下 [定員]314名

[応募期間] 7/23(日) 12:00～11/30(木) 16:00まで

2024.1/1(月・祝) 3:00PM

ニューイヤーコンサート2024

[対象]小学生以上 18歳以下 [定員]314名

[応募期間] 7/23(日) 12:00～11/30(木) 16:00まで

### 11月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する11月23日(木・祝)～11月29日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00～18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00となります。\*火曜定休

\*Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

\*Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話: ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonyhall.jp/>

登録費  
年会費  
無料!

### シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただけます。先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

#### ▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ <https://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。

#### ▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

\*手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

\*※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonyhall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様の同意を得た上で、個人情報を取り扱う法令、規程に準拠して管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報送付(シンフォニア)および関連する印刷物の発送(2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送(3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル」 ©Lisa-Marie Mazzucco

### 対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下(公演によって異なりますので、ご注意ください)

### お申込み方法

★公式ホームページ(<https://www.symphonyhall.jp/>)の子供無料招待席専用ページよりお申込み下さい。

★ご予約は先着順で受け付け、応募多数の場合、抽選となります。各公演の定員に達し次第、終了とさせていただきます。当ホールよりメールにてご来場可否のご連絡をさせていただきます。公演当日の詳細につきましても、メールに記載させていただきます。

★お申込みが定員に満たない場合は、二次募集を行います。

★ご応募は1公演につき、お一人様1回(4枚まで)でお願いいたします。

★必ず氏名・年齢が確認できる身分証明書(学生証・マイナンバーカード・保険証など)の添付をお願いいたします。

★同伴者が19歳以上の場合は別途チケットをご購入いただく必要があります。ご購入については当日現金にてお支払いのみとなります。ご注意ください。

★子供無料招待席と一般販売席はエリアが異なります。同伴者の方と隣席購入ができませんので、あらかじめご了承ください。

★学校・団体での申込も受付しております。

直接事務局(kodomo@symphonyhall.jp)にお問い合わせください。応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

★公演終了後、子供無料席で公演を鑑賞された方を対象に文化庁のアンケートにご協力いただくことを予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

★本アンケート実施のため、子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等)の子供鑑賞体験支援事業)事務局にメールアドレスのみを提供いたしますので、ご了承の上お申し込みください。



文化庁 子供文化芸術活動支援事業

(劇場・音楽堂等)の子供鑑賞体験支援事業)



詳細・注意事項は  
こちらから

# ウクライナより音楽に希望を込めて 美しいハーモニーに浸る華やかな年末年始

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団が4年ぶりに来日する。  
(旧キエフ)  
前回の日本ツアーと同様、今回も大みそかと元日のザ・シンフォニーホールを華やかな音楽で彩る。

The Symphony Hall

## ジルベスターコンサート

2023.12.31

## ニューイヤーコンサート

2024.1.1



[指揮] ミコラ・ジャジューラ [ソプラノ] テチアナ・ガニーナ [アルト] アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール] ドミトロ・クズミン [バリトン] セルギイ・マゲラ

[管弦楽] ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団



キーウ・ベチェルシク大修道院

思います。ウクライナの人々は自分の主張を強く押し出しすぎず、忍耐強く優しい方が多い。ジャジューラさんも自分の色を強く出すのではなく、作曲家や作品の本質を捉えた丁寧な音楽づくりをします。内に秘めた強い思いの上にハーモニーをつくるので、ヨーロッパ的な響きになるのだと思います(中村さん)

**武器ではなく楽器を手にする音楽こそ生きるために不可欠**

ウクライナ国立フィルは22年9月から定期演奏会を再開させている。ロシアによるウクライナ侵攻からたった半年後である。オーケストラのメンバーも散り散りになっていたが、音楽を求める市民の声に答えるように、キーウに戻り再び楽器を手にしたという。空襲警報のサイレンでコンサートを中断せざるを得ないこともあるが、それでもホールの客席を埋める聴衆がいる。キーウの市民にとって音楽は欠かせないものだ。

「自分たちは武器の代わりに楽器を持つ」戦争はすべてを破壊する。しかし希望を失わせることはできない。ジャジューラはこのように述べている。

ザ・シンフォニーホールに大勢の人が集まり、ゆったりと演奏を味わえる喜びを、舞台上立つウクライナ国立フィルのメンバーとともに分かち合いたい。平和の喜びを噛みしめながら。(文 出水奈美)

芸術を愛する国から  
4年ぶり9回目の日本ツアー

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団が12月に来日する。日本ツアーは9回目。2005年の初の日本ツアー以降、隔年で来日するたびに日本のファンを獲得していたが、パンデミックによって21年のツアーを断念し、22年2月からは戦時下に入った。苦難は続くが、音楽こそが希望という熱い思いを抱いて、4年ぶりの日本ツアーに挑むことになった。「かつては首都キーウの空港からヨーロッパを経由して楽団員が日本入りしていましたが、今回はポーランドのワルシャワまで陸路で移動してトルコ経由で来日予定です。大型楽器の移動などいつもとは違う苦労も多いのにみんな来てくれる!! それだけでも感動しています。」

こう語るのは、ウクライナ国立フィルのサウンドに惚れ込み、楽団を日本へ招聘する音楽事務所テンポプリモの中村社長。「20年前に出張でキーウを訪れ、偶然、ウクライナ国立フィルのチャイコフスキー交響曲第5番の演奏を聴きました。ロシアのオーケストラのように劇的でインパクトの強い演奏だけれども、ヨーロッパのオーケストラのようにアンサンブルやハーモニーを大切にしている。音質もまるやかで、パランスの取れた素晴らしい演奏でした。こんな遠い国にこんなオーケストラがあるのかと感激しました」

ヨーロッパらしい響きをつくる指揮者ミコラ・ジャジューラ

ウクライナの美しい風土は多くの偉大な芸術家を生んでいる。音楽ではヴァイオリンのオistravaやピアノのホロヴィッツら。オペラ好きならば、ウクライナ国立歌劇場(旧キエフ・オペラ)もおなじみだろう。その歌劇場とウクライナ国立フィルの音楽監督を兼ねるのがミコラ・ジャジューラ。ウクライナ国立フィルは1995年の創設以来、一貫してジャジューラによって、ハーモニーを重視するヨーロッパ的なサウンドに磨きがかけてきた。

4年ぶりの大阪公演では、そんなオーケストラの特色が存分に生かされるプログラムが用意された。オペラ指揮者としても名高いジャジューラ自身が選んだ4人の歌手が歌う「カルメン」や「椿姫」などの名アリアに、新春らしいヨハン・シュトラウスのワルツ、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」の第4楽章など。大みそかと元日で演奏曲を変化させ、年末年始の華やいた空間を彩る。

「たとえばシュトラウスのワルツ。ロシアのオーケストラだと重みのある演奏になるところですが、ジャジューラさんが指揮するウクライナ国立フィルの演奏は美しく軽やかで洗練されたワルツになる。こうしたサウンドの特性には、ウクライナの国民性が関わっているように

**ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート2023**  
 [指揮]ミコラ・ジャジューラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ  
 [アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン  
 [バリトン]セルギイ・マゲラ  
 [管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

ビゼー: 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」「セギデーリャと二重唱」  
 ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より乾杯の歌 / ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」第4楽章 / J. シュトラウス一世: ラデツキー行進曲 ほか

**2023.12/31(日)5:00PM**  
 S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)  
 [お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 **発売中**  
 [主催]ザ・シンフォニーホール

**ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2024**  
 [指揮]ミコラ・ジャジューラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ  
 [アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン  
 [バリトン]セルギイ・マゲラ  
 [管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

J. シュトラウス二世: 美しく青きドナウ、春の声  
 J. シュトラウス一世: ラデツキー行進曲 / ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より乾杯の歌  
 ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」第4楽章 ほか

**2024.1/1(月)3:00PM**  
 S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)  
 [お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 **発売中**  
 [主催]ザ・シンフォニーホール



過去公演の様子



お客様の投票の様子

# オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023



令和5年 年越しスペシャル!! 日本の日の出を願う

は、ビゼー「ハバネラ」だ。続いては白組。ベルカント・オペラに精通する田中勉(B)は、レオンカヴァッロ「御免なすって、皆さん」を貴様たっぷりに歌唱。演技色の強い役柄を巧みに歌い分ける演技派・小餅谷哲男(T)が濃密に歌うのは、レハール「君こそわが心のすべて」だ。ドイツとイタリアの両オペラを深く知る知性派・西尾岳史(B)の演目は、ヴェルディ「夢が現実か」を。同じく知性派で、近年は指揮者としても活躍する萩原寛明(B)は、レハール「お祖国よ…マクシム」が「を、各々表情豊かに歌唱。音楽だけでなく、創業70年の会社経営者としても名高い松澤政也(B)は、持ち前の美声と表現力を駆使して「ゼー」闘牛士の歌を朗々と歌い上げる。

**今年は男女混声や合唱など、さらなる聴きどころも盛り沢山!!**

そして、注目が集まる新企画の男女混声。多彩なオペラで清楚なヒロインを演じ分ける松浦優(S)は、端正な歌唱表現で定評が高い秋本靖仁(T)との共演で、ビゼー「母の便りを聞かせてよ」を歌う。

宝塚音楽学校などでの教育活動にも熱心な木澤佐江子(S)と、ローマ法王の御前で歌唱経験を持つ田中友輝子(MS)、合唱指導者としても

**【出演】**「紅組」 齊藤言子、木澤佐江子、田中友輝子、並河寿美、野口真瑚、堀口莉絵、松浦優、四方典子  
「白組」 田中勉、秋本靖仁、大谷圭介、小餅谷哲男、西尾岳史、萩原寛明、松澤政也、水口健次  
**【指揮】** 栗辻 聡 【管弦楽】 大阪交響楽団 【合唱】 大阪響コーラス 【合唱指揮】 中村貴志

J.シュトラウスII「こもり」より序曲/レハール「メリー・ウイドウ」よりダニロ登場の歌「お祖国よ…マクシムへいったが」/  
J.シュトラウスII「こもり」よりチャールダーシュ「故郷の調べよ」/カールマン「チャールダーシュの女王」より「ハイア、ハイア  
山こそわが故郷」/ヴェルディ「リゴレット」より四重唱「愛する美しい乙女よ」/ロイド・ウェッパ「ミュージカル「オペラ座の怪人」  
より「マスカレード」/マスカニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「復活祭の合唱」/ビゼー「カルメン」より  
「ハイネラ(恋は野の鳥)」、闘牛士の歌、手紙の二重唱「母の便りを聞かせてよ」/ヴェルディ「運命の力」より「神よ、平和を与  
えたまえ」/ヴェルディ「ファルスタッフ」より「夢が現実か」/レオンカヴァッロ「道化師」よりプロローグ「御免なすって、皆さん」/  
シャルパンティエ「ルイズ」より「その日から」

**2023.12/26(火) 6:30PM**  
全席指定 S 8,800円 A 7,700円(税込)  
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

活躍する大谷圭介(B)と水口健次(T)は、ヴェルディ「愛する美しい乙女よ」を華々しく織り上げる。今回はさらに、男女混声で大阪響コーラスが参戦。ロイド・ウェッパ「マスカレード」とマスカニ「復活祭の合唱」をゴージャスに歌うので、本当に聴きどころが盛り沢山だ。そんな一期一会の歌合戦の審査には、ご来場の皆様も参加できるので、会場体となって大いに盛り上がりましょう!!

(文 渡辺謙太郎)

関西を代表する16人の名歌手が集結！一期一会の豪華歌合戦!!

今年も人気公演が多数開催される12月のザ・シンフォニーホール。その中でも一押しなのが、オールスター「紅白オペラ歌合戦」だ。今回で5度目を迎え、関西にゆかりのある名歌手たちが男女に分かれて、おなじみの傑作オペラアリアを華々しく競演。また、今年も新たな試みとして、一部で紅白混声なども導入されるため、ますます楽しみです。

演奏は昨年と同じく、栗辻聡指揮・大阪響&同響コーラスが担当。歌手陣は男女計16人が登場予定で、まずは紅組の注目点から。

本場のイタリアとアメリカで学んだ関西音楽界の重鎮 齊藤言子(S)は、シャルパンティエ「その日から」を洗練された美声で歌唱。

多彩なジャンルの公演で活躍する実力派 四方典子(S)は、J.シュトラウスII世「故郷の調べよ」を優雅に歌う。佐渡 裕が指揮する「蝶々夫人」などで高い評価を得ている名手・並河寿美(S)は、得意のイタリア・オペラより、ヴェルディ「神よ、平和を与えたまえ」をセレクト。

東京国際音楽コンクールの覇者で、現在は新国立劇場で研鑽を積む野口真瑚(S)は、カールマン「ハイア、ハイア、山こそわが故郷」を熱唱。女性から男性役まで幅広く演じる堀口莉絵(MS)が深々と紡ぐの

## 紅組 ★…キャプテン (※五十音順)



【ソプラノ】 齊藤 言子 ★



【ソプラノ】 木澤 佐江子



【メゾソプラノ】 田中 友輝子



【ソプラノ】 並河 寿美



【ソプラノ】 野口 真瑚



【メゾソプラノ】 堀口 莉絵



【ソプラノ】 松浦 優



【ソプラノ】 四方 典子

## 白組 ★…キャプテン (※五十音順)



【バリトン】 田中 勉 ★



【テノール】 秋本 靖仁



【バリトン】 大谷 圭介



【テノール】 小餅谷 哲男



【バリトン】 西尾 岳史



【バリトン】 萩原 寛明



【バリトン】 松澤 政也



【テノール】 水口 健次

# 今年も紅か白か？ 勝負を決めるのはお客様!!

2018年	紅
2019年	白
2020年	紅
2021年	白
2022年	白
2023年	?

過去の紅白勝敗



# TheSymphonyHall クリスマス オルガンコンサート 2023

## 大木麻理 インタビュー

**「壮大なオルガンの響きに包まれる、幸福なひとときを。」**

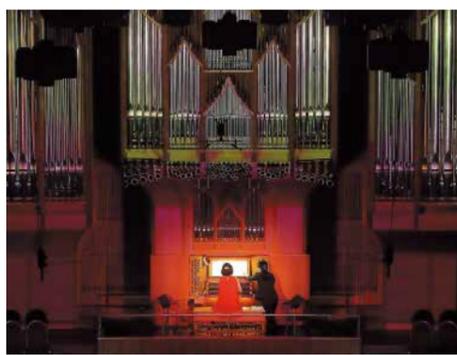
ドイツで研鑽を積み、邦人と  
して初めてブクステフーデ国際  
オルガンコンクールを制した  
本格派。ザ・シンフォニーホール  
ではプロジェクト「超絶シリーズ」  
を駆使した「超絶シリーズ」  
などでもお馴染みの人気奏者  
大木麻理にインタビューした。

「ホールのオルガンはピアノ  
以上に多種多様。鍵盤の数も  
音色もそれぞれ違うので、現  
場に行つてから、あなたはどん  
な声をもつてるの？何を歌い  
たいの？」って一から音を引き  
出していくのがオルガニスト  
の仕事です。幸いシンフォニー

ホールさんではもう、はじめまし  
ての挨拶は不要ですが、それでも  
弾く度に新しい発見がある。しか  
も第一印象から変わらないのが  
楽器としての優秀さ。こちらがイ  
メージする世界観を表現しやすく、  
特に「超絶シリーズ」のような普段  
（バッハを弾いている時には）使わな  
いような音色でも無理なく、しかも  
オルガンらしいサウンドで客席まで  
届けることができるのです」

そんな、ホールの顔とも言える  
楽器が大活躍する恒例の「クリス  
マス・オルガンコンサート」。今年も  
万人が楽しめるレパートリー満載  
で開催される。

「今回も自由に選曲させていた  
だきました。実は私、なにもクリ  
スマスに大曲（トッカータとフーガ  
二短調）を演奏しなくても、派  
（笑）。バッハには他にも魅力的な  
作品がいっぱいあると思うので、  
親しみやすく心癒やされる曲を  
揃えてみました。1曲目に持って  
きたのはカルクエラートの《ドラ  
ムとシンバルをもて、主をほめたた  
えよ》。有名ではないけれど、ハッ  
ピーな気分を味わいたい人の期待  
に応えられる、華やかで祝祭的な  
雰囲気を持った曲です。そして自  
身も教会オルガニストとして活躍  
した19世紀の大家フランクの《古い  
ノエル》も知られざる名曲です  
が、シンブルでノスタルジーを感じ  
させる素敵な曲ですし、壮大なパ  
イプオルガンで元気いっぱい披露  
するので初めて聴く方でも



**[オルガン]大木麻理**

カルクエラート：ドラムとシンバルをもて、主をほめたたえよ/バッハ：主よ、人の望みの喜びよ BWV147/バッハ：グノー：アヴェ・マリア/バッハ：いざ来ませ、異邦人の救い主よ BWV659/バッハ：イタリヤ協奏曲 BWV971/レーガー：クリスマス夢 op.17-9/フランク：「オルガニスト」より古いノエル/ヴァヴィロフ：カッチーニのアヴェ・マリア/アンダーソン：クリスマス・フェスティバル

**2023.12/7 (木) 7:00PM**  
全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

**発売中**

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催]ザ・シンフォニーホール

きつと好きになれると思います」  
もちろん敬虔な祈りのムードも  
たっぷり。

「《アヴェ・マリア》は定番のバッ  
ハ/グノーに加えて、深い哀しみを  
たたえてドラマティックなカッチー  
ニも用意。そこできなげな気持  
持ちになったとしても、その後  
演奏するアンダーソン作品がも  
とオーケストラの曲で、名クリ  
スマスソングが詰まった賑やかな  
ナンバーなので元気を取り戻せる  
はずですよ。ぜひご家族や親しい仲  
間を誘って、一緒に幸福な時間を  
過ごしませんか。お待ちしております」

(取材・文 東端哲也)



## ヴァイオリン 古澤 巖

# Iwao Furusawa 古澤 巖 ベルリン・フィルハーモニック Philharmonic Strings Berlin ストリングス ～愛のクリスマス 2023～

**今年のクリスマスも、  
最高峰のヴァイオリン&至高のアンサンブルと共に…**

多彩なユニットをいくつも結  
成し、ジャンルの壁を超えて極上  
の音楽を奏でてきたヴァイオリ  
ニスト古澤 巖。昨年からは俳  
優・山本耕史を中心にスーパー  
ミュージシャンたちと展開する  
ステージも始動し、更にコラボ  
の幅を広げて話題を集めた。

今年5月にリリースされた最  
新アルバム『炎のヴァイオリン』  
でも、世界最高のオーケストラ  
から選ばれた「ベルリン・フィル  
ハーモニック・ストリングス」を筆頭  
に、タンゴとクラシックの融合を  
テーマにした「品川カルテット」、

「コレシカ音楽祭のために来日した本  
邦初のコレシカ・バンド「コレセ・ソル  
・イン・ムジカ」など、世界中のヴィ  
トル・オーグたちとの見事な共演を  
聴かせてくれたばかり。

特に5人からなる「ベルリン・フィル  
ハーモニック・ストリングス」は彼の  
プロジェクトのために設立された弦  
楽アンサンブルで、メンバーはベル  
リン・フィルでの演奏歴以外に、フィ  
ハーモニック・ストリング・カルテット、  
ベルリン・フィルハーモニック・トリ  
ン・フィル12人のチェリストたち、  
フィルハーモニア・カルテット・ベル  
リンなど、数多の名門室内楽団で



弦楽アンサンブル  
ベルリン・フィルハーモニック ストリングス

も長年活躍している実力派たち。  
バッハやヴェイヴァルディのよう  
クラシックの王道。作曲家から  
ピアソラ、ジョン・ウィリアムズな  
ど様々なスタイルに対応でき、そ  
の濃厚な音色と一糸乱れぬ響きは  
圧巻。同アンサンブルと古澤はこ  
れまで、ザ・シンフォニーホールで  
10年にわたって人気の公演を続  
けているのでご存じの方も多いの  
では？

今年も12月に昨年と同じ「愛の  
クリスマス」と題して開催される  
このコンサート。プログラムの要と  
なるのはイタリアの現代作曲家  
ロベルト・ディ・マリノーが書き上げ  
る新作コンチエルトで、これまで  
第7番までが披露され、そのすべ  
てはこのメンバーによってレコー  
ディングも行われてきた。前述の  
「炎のヴァイオリン」に収録され  
た《コンチエルト 第7番》が原点

**[ヴァイオリン]古澤 巖**  
**[弦楽アンサンブル]ベルリン・フィルハーモニック ストリングス**

サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン  
ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》より「冬」  
ロベルト・ディ・マリノー：コンチエルト 第8番/ドビュッシー：小組曲

**2023.12/12 (火) 6:30PM**  
全席指定 S 8,000円 A 6,500円 U25 2,500円(税込)

**発売中**

[お問い合わせ]キョードーインフォメーション 0570-200-888  
[主催]NHKエンタープライズ/ザ・シンフォニーホール/ジェイ・ツー

「回帰とも言うべき、情熱的なタン  
ゴをイメージさせる大作だっただ  
けに、今回の《第8番》にも大いに  
期待したい。

他にも、古澤が出演するテレビ  
東京「Dの旋律」ダンスと音楽の  
シンフォニーのテーマ曲でもある  
サラサーテの《ツイゴイネルワイゼン》  
やヴィヴァルディのあまりに有名な  
ヴァイオリン協奏曲集《四季》からド  
ラマティックな「冬」、ドビュッシーの  
《小組曲》全曲など名曲が目白押  
し。彼の代名詞である、銘器ストラ  
ディヴァリウス「サン・ロレンツォ」Ex  
ヴィオッティが夢のクリスマスへと  
誘ってくれるはずだ。

(文 東端哲也)

# The Symphony Hall Super Brass

ザ・シンフォニーホール スーパーブラス

Shid! × The Symphony Hall



## 年末スペシャルコンサート The Symphony Hall Super Brass × THE SOULMATICOS ゴスペル

2023  
12/30  
(土)



指揮 喜多弘悦

アーティスト THE SOULMATICOS 池末 信

**あの感動を再び!!**  
昨年7月に始動したばかりの「ザ・シンフォニーホールスーパーブラス」は、プロジェクトのメンバーによる変貌自在な光のアイディアによる演出と、迫力満点のブラッサウンドで大好評を博しています。感受性溢れる4歳以上のお子様にも目と耳とで楽しんで頂くことができ、三世代で感動を共有頂けるのも魅力の一つ。まさに五感を刺激するエンターテインメント・ショーとして、これまでにない新時代のコンサートスタイルを築いています。レパートリーもクラシックだけでなく、映画、アニメ、ミュージカル、ゴスペルとジャンルを問わず、めっちゃ楽しい音楽をモットー

に取り揃えています。次回12月30日は、昨年大好評を頂いた池末信率いる日本屈指のゴスペルグループ「ザ・ソウルマティックス」が再登場！昨年、「ユー・レイズ・ミー・アップ」を熱唱し喝采を浴びたソリスト、斉藤早春もアンコールにお応えします。心揺さぶる魂のハーモニーとの感動のステージをご期待下さい！  
本公演に向けて、指揮者の喜多弘悦とザ・ソウルマティックスディレクターの池末信によるLIVE LEEFのインタビュ動画を配信中です。なかなか聞けない話が盛りだくさんです。是非ご覧下さい！  
動画はコチラ



### 《年末スペシャルコンサート The Symphony Hall Super Brass × THE SOULMATICOS ゴスペル》

[指揮・お話]喜多弘悦

[演奏]The Symphony Hall Super Brass

[ゴスペル]池末 信×THE SOULMATICOS

ハレルヤ/聖者の行進/You can't stop the beat/永遠(オリジナル)/映画「天使にラブソングを」メドレー ほか

2023.12/30(土) 3:00PM

一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ]大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



## プラスde ミュージカル ハッピー・バレンタイン

2024  
2/14  
(水)

### 《プラスdeミュージカル》～ハッピー・バレンタイン

[指揮・お話]喜多弘悦

[演奏]The Symphony Hall Super Brass

「美女と野獣」ハイライト / 「シンデレラ」メドレー / 「オペラ座の怪人」セレクション / 「アラジン」メドレー / 「マンマ・ミーア！」メドレー / 映画「タイタニック」ほか

2024. 2/14 (水) 7:00PM

一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ]大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

**「愛」の物語!**  
次回は、来年2月14日のバレンタイン・デーに「プラスdeミュージカル」～ハッピー・バレンタインと題して開催します。ずばり、テーマは「愛」。ミュージカルや映画でお馴染みのプログラムがラインナップされました。「美女と野獣」、「シンデレラ」、「アラジン」、「マンマ・ミーア!」、「オペラ座の怪人」、「タイタニック」等の名曲の数々を、たっぷりの「愛」を込めてお届けします。どうぞ、あなたの大切な人と一緒に、この感動を味わいに来てください。間違いなくハッピーな気分になりますよ。

バレンタイン・デーに贈る

# The Symphony Hall BIG BAND

ザ・シンフォニーホール ビッグ・バンド

ザ・シンフォニーホール BIGBAND 公式インスタグラム



## vol.21 ダンディズム

スペシャルゲスト [サククス] 本田雅人

サクサスの至宝と5年ぶりに邂逅!まさに究極のダンディズム!!  
2016年に産声を上げ、12月4日に21回目の公演を行うThe Symphony Hall Big Band(以下TSHBB)。クラシック専用ホールをホームグラウンドに持つ本格的なビッグ・バンドは、日本で唯一無二。  
TSHBBのメンバーは、トランペットの菊池寿人をはじめとした16名。いずれもソロやバンドで活躍する名手で、幅広いレパートリーに柔軟に対応できる奏者だという。公演タイトルを「ダンディズム」と題して行う今回は、ゲストにサクサスの大御所・本田雅人を迎える。原信夫とシャープ・ス・アンド・フラッツ、T-SQUAREを経て、現在はソロや自身のビッグ・バンドB.B.STATIONなどで活躍する彼の長年の功績は、まさに「ハイパーサククスプレイヤー」の称号にふさわしい。  
TSHBBとの共演は、2018年以来5年ぶりとなる本田。予定演目には、「THEME FOR B.B.S.」「TRUTH」「スペイン」「宝島」「OMENSOFF LOVEメドレー」など

どファン待望のナンバーが多数並び、本田の自作曲「THEME」は、若者が集まるビッグ・バンドのステーション(駅)をイメージして書かれた、スイングの王道を颯爽と駆け抜けるナンバー。  
T-SQUAREの代表作で、フィテーマ曲でもある「TRUTH」は、本田がこれまでに数千回吹き続けてきたという十八番だ。  
21年に亡くなったチック・コリアの傑作「スペイン」は、本田が普段フルート、ソプラノサククス、アルトサクサスのいずれかで吹いているそうなので、この日にどの楽器を選ぶかに注目。  
「宝島」は「TRUTH」と並ぶT-SQUAREの代表作だが、今回は、作曲家・和泉宏隆のオリジナル版と、真島俊夫が吹奏楽用に編曲した版、それぞれの良さを巧みに融合したアレンジでお届けする。まさに本田の究極のダンディズムの世界が味わえる。(文 渡辺謙太郎)

[演奏]The Symphony Hall Big Band  
[スペシャル ゲスト]本田雅人(サククス)

和泉宏隆:宝島~オメンズ・オブ・ラヴ メドレー~  
安藤まさひろ:TRUTH/チック・コリア:スペイン  
本田雅人:THEME FOR B.B.S. ほか

発売中

2023.12/4(月) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

## vol.22 タンゴ・タンゴ・タンゴ2

スペシャルゲスト [バンドネオン] 川波幸恵



今回の公演テーマはタンゴ! バンドネオンの新星と再び共演!!  
24年も疾走し続けるTSHBBは、3月6日に「タンゴ・タンゴ・タンゴ2」と題した22回目の公演を開催。ゲストには昨年共演したバンドネオン奏者の川波幸恵を迎える。巨匠・小松亮太に師事し、15年にチェ・バンドネオン世界大会で優勝を飾った彼女。近年はテレビなどのメディア出演にも積極的で、タンゴやバンドネオンの魅力を幅広く伝えている。予定演目はタンゴの革命児ピアソラの傑作集なので、2度目の共演ならではの洗練と深みを増した秀演が期待できそうだ。(文 渡辺謙太郎)

[演奏]The Symphony Hall Big Band  
[スペシャル ゲスト]川波幸恵(バンドネオン)

ラ・クバルシータ/エル・チョクロ/リベルタンゴ/オブリヴィオン/アディオス・ノニーノ/碧空/Taquito Militar/DESDE EL ALMA/天使のミロンガ

2024. 3/6 (水) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行:11/23(木・祝) 一般発売:11/26(日)





[ソプラノ] 幸田浩子

[テノール] 中井亮一

[バリトン] 須藤慎吾

# 運命

## BEETHOVEN SYMPHONY No.5

# カルミナ・ブラーナ

冬がさる(コロナを乗り越えて)、  
春が訪れ、新しい生命がめばえる

『カルミナ・ブラーナ』の歌詞より

ベートーヴェン「運命」とオルフ「カルミナ・ブラーナ」という  
ドイツ音楽の神髄を聴く豪華なプログラムが実現！

ザ・シンフォニーホールでもなかなか上演されない大曲  
「カルミナ・ブラーナ」について、  
かつてミュンヘン留学でこの作品を学び、演奏経験も豊富で、  
今回指揮を執る飯森範親さんに話をきいた。

【指揮】

**飯森範親**  
Norichika Imori

まず、どうして今回、オルフの「カルミナ・ブラーナ」を選ばれたのか教えていただけますか？

新型コロナウイルス感染症が5類になって、コロナ禍の前の状況に戻りつつありますが、「カルミナ・ブラーナ」は、内容的にも、酒場が出てきたり、男女の営みがあったり、曲も華やかで、また、ソプラノの幸田浩子さんが出演してくださるので、彼女をフィーチャーできるということ、そして、日本センチュリー合

唱団も頑張っていますので、今がちょうど良い時だと思いました。  
「カルミナ・ブラーナ」とはどういう作品でしょうか？  
作品はラテン語がテキストになっていますが途中でバイエルン訛りの古いドイツ語も出てきます。僕自身、ミュンヘンに留学していたとき、ラテン語を習っていましたが、その先生からバイエルン訛りの古いドイツ語の発音も教えてもらいました。ベネディクト・ポイエレン修道院で見つけたラテン語のテキストは、ラテン語もドイツ的な発音で読む方がふさわしいのです。そういうテキストのリズム感とオルフの音楽とをききと一致させると面白い上演ができると思います。  
「カルミナ・ブラーナ」は、同じリズム、同じ旋律が繰り返され、ミニマル・ミュージックの原点ですよね。懐かしいと思う旋律もあったりします。そして単純な和音の繰り返しでの変化が絶妙で、そのセンスは抜群だと思っています。  
飯森さんはこれまで何度もこの曲を指揮されていますが、記憶に残る上演をあげただけですか？  
20年ほど前に、スイスのルツェルンで指揮したときですね。音楽大学生らの若い合唱団の響きの透明感にびっくりしました。私自身が聴衆として聴いたのでは、

1995年のオルフ生誕100周年を記念してミュンヘンの野外の会場に5000人以上の聴衆を集めてのコンサートが印象に残っています。  
今回、日本センチュリー交響楽団と演奏する「カルミナ・ブラーナ」への抱負をお聞かせください。  
日本センチュリー響には、小振りなオーケストラならではの高度なアンサンブル力があり、ハイドンの交響曲の全曲演奏で培った弦楽器や木管楽器の透明感や音程の良さという特長があります。「カルミナ・ブラーナ」は和音の透明感がとても大事なので、そういう日本センチュリー響の良さが活かされるはずですね。自信をもって、どの方にも美しいオーケストラだと思って聴いていただけたらと思います。また、ダイナミクスの変化にも、ドラスティックに対応できるすばらしいオーケストラになりました。  
そして、「カルミナ・ブラーナ」はゴージャスな響きも魅力です。日本センチュリー響の規模からすると、我々なりの工夫をしてゴージャスな響きを作る必要があります。今回、ザ・シンフォニーホールに来られるお客様には、いつもの日本センチュリー響の楽しみとは違う、豪華な響きも楽しんでいただけたらと思います。  
(取材・文 山田治生)

【指揮】飯森範親 【ソプラノ】幸田浩子 【テノール】中井亮一  
【バリトン】須藤慎吾 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団  
【合唱】日本センチュリー合唱団  
【児童合唱】大阪すみよし児童合唱団

ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」  
オルフ：「カルミナ・ブラーナ」

2024.3/31(日) 3:00PM

全席指定 S 9,900円 A 8,800円 B 7,700円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

【先行予約】11/23(木・祝) 一般発売：11/26(日)



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

既に、看板チェリストの筆頭格。2024年2月のリサイタルで挑む、前半と後半でがらりと趣向を変えた2段階構えのプログラムにも、早くも大きな期待が寄せられている。

### ドイツ音楽×ピアノソナ 異色の組み合わせでお届けする 意欲的なリサイタル。

も暗い場所から明るいところに向かっているような希望が感じられるのが好きです」

一方で、R・シュトラウス唯一のチェロ・ソナタはそこから70年ほど後に書かれた作品。

「しかも、彼がミュンヘン大学に入学したばかりの18歳というとても若い時の作品ですね。でも第1楽章には後年あの『ばらの騎士』を作曲する巨匠らしい芳醇な音楽があり、そして第2楽章には、戦後全ての理想が打ち砕かれてゆつくりと死期が近づいていた晩年の、『メタモルフォーゼン』に近い厳肅な雰囲気

東西のチェリストに愛されてきたサン＝サーンス作曲の『白鳥』。『有名すぎる名曲ですが、R・シュトラウスからの流れにも相性がぴったり。前半終了後のミニ・アンコールのようなつもりで楽しんでいただければ」

## Interview vol.1 横坂 源 チェロリサイタル 悪魔のロマンス

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]沼沢淑音

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第4番 8長調 op.102-1  
R.シュトラウス：チェロ・ソナタ 8長調 op.6 / サン＝サーンス：白鳥  
ピアノ：悪魔のロマンス、リベルタンゴ、鮫、ル・グラン・タンゴ

2024.2/3 (土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

「ショパンやドビュッシーのように、晩年になってチェロ・ソナタの傑作を完成させた作曲家と違い、ベートーヴェンが残した5つのソナタは初期・中期・後期と全部揃っていて、それぞれで作風がどう変化するかを体感でき、演奏家にとっては宝物のような作品です。間を置かずたて続けに書かれた、まるで人智の及ばない天上の世界のような。5番と比べると、4番はどこか現実的で人間味があり、短い中に

そんな前半を締め括るのは、古今

(取材・文 東端哲也)

撮影：鈴木久美子



### 大阪が世界に誇るオルガニスト、 富田一樹の「オルガン名曲決定版」!

「Sinfonia」59号に続き、ライプツィヒのバッハ国際コンクールで日本人として初めて優勝した富田一樹のインタビューの後半。今回は、富田とオルガン、そして彼の人柄がわかるエピソードなどを紹介する。

「来年2月16日の「オルガン名曲決定版」では、「みなさんが知っている曲、それから知らない曲でも1回弾けば楽しめる作品」を選曲したそうですね。

バッハ以外にも、ロマン派や近代の作品も演奏しますし、珍しく古典派の曲も入れています。例えば、ドイッ・ロマン派の作曲家エラートの『凱旋行進曲』も演奏します。厳かに、マエストロな感じで歩いていくような曲です。ザ・シンフォニーホールのオルガンには、マエストロな作品がよく合いますね。

「ザ・シンフォニーホールへの出演回数が多い富田さんならではの言葉ですね。富田さんが、初めてこのホールのオルガンに接したのはいつですか？」

高校生のころに、僕の先生の演奏を聴いた時です。モニュメントとい

間がとて印象に残っています。本番で初めて演奏したのは、2017年のクリスマスコンサートです。その前に、譜めくりや音色の変更(レジスター)のアシスタントとしてうかがったとき、少しだけ鍵盤に触れたことはありました。

「オルガンやピアノを習っていたそうですが、チェンバロも演奏されるそうですね。」

名刺には「通奏低音奏者」と書いてあります。パイプオルガンが専門なので、オルガンしか弾く機会はほとんどないのですが、オルガンもチェンバロも通奏低音。チェンバロで通奏低音をやると言われれば、弾きます。

「富田さんが留学した北ドイツのリューベックは、オルガンの聖地と言われています。冬はものすごく寒い！クリスマスマーケットへ行って、友だちと

## Interview vol.2 富田一樹 オルガン名曲決定版2024

ホットワインを飲みながらおしゃべりしていました。どちらかと言えば、僕は一人の時間を大切にする人間で、パイプオルガンを選んだことと関連するのですが、一人

で完結してしまうのです。でも、時々おしゃべりすることで、リフレッシュできますね！

「帰国後、演奏活動に多忙な日々を過ごしていらっしゃいます。」

30歳を超え、そしてコロナ禍をきっかけに、人間の幸せと健康について考えるようになりました。自分の生活が決して良くはなかったこともわかりました。基本的に1日2食、エネルギーを使わない日は1日1食。オーガニックレストランにも興味があります。

「「Sinfonia」の読者のみなさまにメッセージをお願いします。」

ザ・シンフォニーホールのオルガンを演奏させていたとき、毎回新しい学びがあり、発見があります。そういう部分も含め、楽しんでいただけると嬉しいです。「知らない曲だけれど、これは面白い！これいい！」という曲をたくさんとりあげているので、ぜひお越しください。

(取材・文 道下京子)

[オルガン]富田一樹

ブクステフーデ：前奏曲とフーガ 8長調 BuxWV145 / ジャゾット：アルピノーニのアタージョト短調(オルガンソロ版) / エラート：凱旋行進曲「いざ諸人よ、神に感謝せよ」op.65-59 / ジグー：トッカータ 8長調 / ケルナー：前奏曲 8長調 / シャイデマン：ガイヤルドと変奏 2短調 WV107 / J.S.バッハ：「われ汝に呼ばわる、主イエス・キリストよ」BWV639、「目覚めよと呼ぶ声あり」BWV645、幻想曲とフーガ ト短調 BWV542「大フーガ」

2024.2/16(金) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中





# イム・ユンチャン

## ピアノ・リサイタル

### Yunchan Lim

Piano Recital

稀有な才能と音楽へのひたむきな愛情が生み出す奇跡

6月のテキサスフォートワースは暑かった。40度近いギラつく陽射しの中、2022年第18回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールは、16日間に及ぶデッドヒートを繰り広げていた。世界の精鋭30人は、セミファイナルで12人に絞られ、1時間のソロリサイタルを演奏。まだあどけなさの残る韓国18歳の少年が、リストの超絶技巧練習曲集全12曲に挑戦。演奏が進むにつれ、場内は異常

な静けさに包まれて行った。唸然とするテクニクとカリスマ性、スケールの大きさ、アーティスティックな表現力に、聴衆は息を呑み聴き入った。本人は至って冷静で、時折笑みさえ浮かべる余裕：まさに震撼とさせるステージであった。ファイナルへと進み、ラフマニノフのコンチェルト第3番を披露。正確無比なタッチと共に音楽を身体全体で感じながら、若獅子さながら髪の毛を逆立て、果敢に攻めて行く。オケとの呼吸も抜群で、いかなる難解なパッセージも楽々とこなし、ここぞと

いう聴かせどころをバシッと決め、小気味よい。一方で、たっぷりとしたフレージングがロシアの熱いロマンティズムを高らかに歌い上げる。フィナーレのワイルドな高揚感に、18歳のひたむきさが感じられ、心打たれた。まことに現代的で爽快感あふれるラフ3であった。史上最年少の優勝を飾った彼が、入賞式後に行われた記者会見において、「今後のキャリアについて」の質問に対し、「僕は有名になるとか、国際的なキャリアを築くこと

にあまり興味がなく、出来ることなら山に行って、僕のピアノと一緒に眠りたいです。でもそれだと収入が無いので(笑)、コンサートに出演したり、コンクールに出場しようと思ったのです。キャリアは自分自身で変えていきたいです。」と答えた。彼は留学経験を持たず、敬愛するソーン・ミンズ氏の指導を受け今日に至っているが、そのソーン・ミンズ氏が教会で行ったライブ演奏、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」を師とは知らずユーチューブで聴き、高貴で真摯な演奏に魂が洗われた。後に、このピアノリストこそが彼の師と判明、納得したのだった。

2022年12月、ユンチャンは東京サントリーホールにおいて日本デビューを飾った。リスト作品と

[ピアノ]イム・ユンチャン

《オール・ショパン・プログラム》  
3つの新しいエチュード(遺作)/12のエチュード op.10  
12のエチュード op.25

2024.2/11 (日・祝) 2:00PM  
全席指定 6,000円(税込)

発売中

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール



# 前橋汀子

Teiko Maehashi  
Violin Special Concert

## ヴァイオリン・ スペシャル・コンサート

© 藤山紀信

無伴奏からオーケストラとの共演まで、前橋汀子のすべてを聴く!

17歳の前橋汀子は、日本人がソビエト連邦に行くことさえ困難だった冷戦の時代、単身、船でソビエトに渡り、レニングラード音楽院に留学してミハイル・ヴァイマンに師事した。その後、アメリカに渡ってジュリアード音楽院でロバート・マンに学び、スイスではヨーゼフ・シゲティやナタン・ミルシテインら巨匠から薫陶を受けた。そして、今も精力的に演奏活動を続ける彼女は、まさに日本音楽界のレジェンドである。

最近では、ソロ活動だけでなく、「前橋汀子カルテット」を結成し、新たにベートーヴェンの弦楽四重奏曲に取り組むなど、ますます音楽に対する情熱を深めている。

ザ・シンフォニーホールとは、1982年のオープニング以来40年以上のつきあいであり、毎年



指揮&チェンバロ  
ヴァン・マルディロシアン

ようにこのホールに帰ってくる。2022年6月には演奏活動60周年記念リサイタルを開催。今年6月に「ヴァイオリン名曲選」と題するリサイタルをひらいた。2024年1月のリサイタルでは無伴奏曲からオーケストラとの共演まで、「これぞ前橋汀子!」といえるプログラムが組まれている。

まずは、バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ第2番から「シャコンヌ」。15分に及ぶこの無伴奏曲にはヴァイオリン音楽のすべてが詰まっているといっても過言ではない。1988年、2018年と二度にわたってバッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」を録音した彼女が、今、どんな「シャコンヌ」を聴かせてくれるのか興味津々である。ヴァルディの「四季」から「冬」では第2楽章の前橋が奏する歌のような旋律が楽しみだ。ベートーヴェンの「ロマンズ」第2番では、前橋がベートーヴェンのロマンティックな側面をたっぷりと歌い上げることだろう。サン＝サーンスの「序奏とロンド・カプリチオーソ」とサラサーテの「ツイゴイネルワイゼン」は、前橋が60周年記念リサイタルでも取り上げた十八番中の十八番のレパートリー。誰もが聴いたことがあるに違いない名曲だ。前橋が聴き手の心を鷲掴みにするよ

うな華麗で情熱的な演奏を聴かせてくれるだろう。メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は、前橋がかつてクリストフ・エッシェンバッハ&チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と録音もした、彼女にとって最も大切なレパートリーの一つ。冒頭の美しいメロディで知られるこの傑作を、前橋がどう演奏するのか、期待せずにはいられない。また、ピアノの名手でもある鬼才、ヴァン・マルディロシアン

[ヴァイオリン]前橋汀子 [指揮&チェンバロ]ヴァン・マルディロシアン  
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004より《シャコンヌ》/ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲《四季》より「冬」op.8-4/ベートーヴェン:ロマンズ 第2番 へ長調 op.50/サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64/サラサーテ:ツイゴイネルワイゼン op.20

2024.1/14 (日) 2:00PM  
全席指定 S 7,700円 A 6,600円(税込)

発売中

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール

(文) 山田治生



Ikuyo Nakamichi Piano Recital

# 仲道郁代

## ショパンを弾く〜円熟と哀しみ〜

長年にわたりショパンを演奏し、手稿譜や時代楽器の研究を行い、多角的なアプローチを重ねてきた仲道郁代。オール・ショパン・プログラムの本公演は「円熟と哀しみ」をテーマに選曲されている。

「円熟」―仲道は今回、ショパンが30歳以降、つまりショパンの創作後期から晩年までの作品を選んだ。バラード第3番や第4番、ポロネーズ第6番「英雄」や第7番「幻想」は多様な装飾音型、自由な転調、リズム語法の変化などに満ち、複雑で多義的な様相にあふれる。ショパンが愛したブレイエル社による1842年製のピアノを自らも所有し、日々ショパンの書き残した譜面との対話を繰り返しながら、その繊細な表現を、円熟させてきた仲道。リサイタルではモダン・ピアノによって、その息遣いをホールに鳴り響かせてくれることだろう。

「哀しみ」―ショパンはよくポーランド語「Ballad」(悲哀・悔恨・憂鬱がない交ぜとなった感情を指す言葉)を口にしたという。生涯故郷に帰ることができず、恋人とも添い遂げることでできなかったショパン。仲道は「忸怩たる思い」をショパンが抱え続けていたことを作品から読み解く。最晩年のマズルカop.68-4には、どこか不安定で内省的な色合いがある。その底知れぬ哀しみを、仲道が繊細なタッチで描き出してくれるはずだ。

丹念に楽譜を読み解き、ピアノの響きと深い対話を織りなす仲道が、そうしたショパンの思いを音楽言語に乗せて、鮮やかに語り聴かせてくれることだろう。

(文 飯田有抄)

[ピアノ]仲道郁代

【オール・ショパン・プログラム】

ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」op.53/ワルツ 第6番 変ニ長調「小犬」op.64-1  
バラード 第3番 変イ長調 op.47/バラード 第4番 ヘ短調 op.52/マズルカ op.68-4  
ヘ短調(遺作)/ポロネーズ 第7番 変イ長調「幻想」op.61 ほか

2024.1/21(日) 2:00PM 全席指定 4,500円(税込) 発売中  
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催]ザ・シンフォニーホール



# Passion in Blue

~情熱のヴァイオリン~

# 川井郁子

## シンフォニックコンサート2024

NY公演を終えた川井郁子が名手たちと新たな舞台に挑む

「シンフォニック・コンサート」は、不動の人気を誇るヴァイオリニスト、川井郁子が2017年から毎年出演するザ・シンフォニーホールシリーズ。彼女は、さまざまな角度からコンサートをエネルギーに作り上げ、その趣向を凝らした舞台は常に注目を集めている。

昨年のこのシリーズでは、和洋楽器によるオーケストラ「響」とともに映像などをとり入れた舞台を展開。そのスタイルをもとに、川井と「響」は、今年9月にニューヨークでも公演を開催し、現地のオーケストラやウクライナの合唱団と共演した。国籍やジャンル垣根を取り払い、出演者が一丸となって築き上げた新たなステージは、聴衆の心に深く刻み込まれた。



「シンフォニック・コンサート2024」は来年3月22日に行なわれる。タイトルは、川井のオリジナル曲の名前を冠した「Passion in Blue」(情熱のヴァイオリン)。

そのプログラムについて、川井はこのように語る。

「アコースティックかつプリミティブなヴァイオリンの音色が生きるプログラムです。小編成のアンサンブルで、ピアノ、タンゴを中心に、ジプシー音楽やスペインの作品など、歌うような、踊るような、そんな心地になる曲で構成します」

かつてのインタビュで、川井は、「私も革命を起こすような、新たな扉を開くことを大きな目標としています」と、タンゴの革命児、ピアソラへの尊敬の念を熱く語っていた。今回のシリーズでは、「ブエノスアイレスの冬」や「リベルタンゴ」などのピアソラの作品がプログラムの大きな軸をなす。

「ジャンルを越境して自分の音楽を追求した結果、「ピアソラ」というジャンルを作り上げた偉業はアーティストとしてとても憧れます」

そして、フアリャ(7つのスペイン民謡)やシャンソン(愛の讃歌)などの作品も取り上げる。

「フアリャなど、情熱と哀愁が混在する音楽をヴァイオリンの音色で歌うのが好きなので、演奏するのが楽しみです」

共演するのは、バンドネオンの鈴木崇朗、ピアノの林正樹、コントラバスの宮田雄規、そしてギター、天野清継。川井と共演を重ねてきた名手たちが、密度の濃いステージを繰りひろげる。

「いろんなジャンルで共演しているメンバーです。それぞれの個性を生かしたアンサンブルが作れたらと思います」

「Sinfonia」の読者の皆さまに、メッセージをお願いした。

「タンゴやピアソラを中心に、情熱的なナンバーを、歌うように、踊るように、熱い演奏をお届けしたいと思えます。美しい生音を響かすシンフォニーホールでは是非お楽しみください」  
(取材文 道下京子)

[ヴァイオリン]川井郁子 [バンドネオン]鈴木崇朗  
[ピアノ]林正樹 [コントラバス]宮田雄規 [ギター]天野清継

ジャンヌ・イ・ポール、オブリヴィオン、ブエノスアイレスの冬、孤独、リベルタンゴ、愛の讃歌、エマニュエル、七つのスペイン民謡より ほか

2024.3/22(金) 7:00PM 全席指定 S 6,500円 A 5,000円(税込) 発売中

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催]ザ・シンフォニーホール

# 荒 庸子 チェロ・リサイタル 2024 珠玉のシネマ名曲集

SELECTION Vol.8

## モリコーネに思いをよせて



名手・荒庸子による名画の世界

〜モリコーネへのオマージュ

人間の声と思わせるあたったかき響きをもつチェロ。細やかな陰影を描き出すのうたってつけの楽器だが、日本を代表する名チェロ奏者の荒庸子が、この楽器の多彩で豊かな可能性を駆使し、ザ・シンフォニーホール恒例の「珠玉のシネマ名曲集」を開催する。今回で8回目となる同シリーズは、懐かしい名画や話題の作品まで、幅広い映画音楽を集める人気コンサートである。イタリアを代表する映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネを中心にした選曲だ。誰もが一度は耳にしたことのある数々の名旋律を生み出したモリコーネの作品のうち、「ニュー・シネマ・パラダイス」「海の上のピアニスト」「アンタッチャブル」などの心をゆさぶるテーマ音楽がとりあげられる。さらにロータの哀愁に満ちたメロディーが印象的な「道」、チャップリンの名画「ライムライト」といったノスタルジックな音楽も演奏される予定だ。大の映画好きだという荒。演奏に加えて、彼女による楽しいトークも楽しみにしているファンが多い。陽春の昼下がりに、チェロの洗練された演奏による喜怒哀楽に満ちた映画の世界を堪能したい。

(文 伊藤制子)

[チェロ]荒 庸子 [ピアノ]山田武彦

モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」。「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」。「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」より「メイン・テーマ」。「ミッション」より「カプリエルのオーボエ」。「マレーナ」より「メイン・テーマ」。「アンタッチャブル」より「メイン・テーマ」/ヤング「80日間世界一周」より「アラウンド・ザ・ワールド」/メンケン「美女と野獣」より「チャップリン」/ライムライト「ライムライト」より「エターナリー」。「モダン・タイムス」より「スマイル」/ロータ「道」より「ジェラルド・フィナーレ」/マルシッチ「屋下がり」の情事より「魅惑のワルツ」/ローゼンマン「エデンの東」より「メイン・テーマ」/マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「前奏曲」/「間奏曲」

2024.3/30(土) 2:00PM 全席指定 4,400円(税込) 発売中  
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催]ザ・シンフォニーホール



# ニューイヤー祝祭コンサート

## オペラアリアとバレエの饗宴Vol.9

オペラアリアやバレエの楽しみ溢れるニューイヤー祝祭コンサート!

華麗に、そして楽しく！「ニューイヤー祝祭コンサート2024」、オープニングはワルツ王・シユトラウス2世の名作、「美しく青きドナウ」が飾ります！バレエの気高さと優雅さを、ホールの美しい響きの中で表現します。音楽と踊りが紡ぎ出すドナウ沿岸のヨーロッパの情景をご堪能ください。続いては7名の歌手による名アリアの数々をお届けします。フランス及びイタリア・オペラからアリアの名曲の数々をセレクト。歌手達の美声が、魅力溢れるオペラの世界へと皆様を誘います。さらに、ソリストとオーケストラとの共演では、フランスのエスプリを感じさせる作風で知られるサン・サーンスの名作「序奏とロンド・カプリチオーソ」と、20世紀のモダニズムの中で煌めくサウンドを創り上げたプロコフィエフの若き日の力作「ピアノ協奏曲 第一番がプログラムを彩ります！エンディングは《カンパニーでこぼこ》とお届けするラヴェルの不朽の名作「ボレロ」。オーケストラの圧倒的な響きと、色彩感の中で舞うソリストと群舞の饗宴をお楽しみ頂きます。華やかなグランド・フィナーレとアンコールでは撮影タイムを設けます。ぜひコンサートの思い出をお持ち帰りください。

クラシックの名曲による素敵な時間をお届けする「ニューイヤー祝祭コンサート2024」。お子様をはじめとして多くの世代の皆さまにお楽しみいただけることでしょうか！

[指揮] 守山俊香 [管弦楽] ニューイヤー祝祭オーケストラ  
[バレエ] カンパニー-DecoBoco (監修 カ・岡田伸泰、榎本 心、松田えりか他 総勢20名)  
[ヴァイオリン] ジョーンソン愛梨 [ピアノ] 村上祥子  
[ソプラノ] 末廣亜矢子、西影純枝、中村ひろみ、佐竹裕子、末吉景子  
[メゾソプラノ] 渡辺美和 [テノール] 若井健司

J.シユトラウス:美しく青きドナウ/ラヴェル:ボレロ ほか

**2024.1/3 (水) 2:00PM**  
全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B (高校生以下) 2,000円(税込) **発売中**  
[お問い合わせ] ミュージック・アート・ステーション 06-6636-7067  
[主催] 国際交流協会

# プロジェクトマッピング×パイプオルガン 超絶BEST

名曲連投!! 集大成がスゴすぎる!!

[オルガン] 大木麻理



パイプオルガンの荘厳な響きと連動して、ホールいっぱいにプロジェクトマッピングが展開する「超絶シリーズ」。これまで様々なテーマで聴衆を魅了してきた、あの大人気企画の「いいとこどり豪華版」が2024年1月に登場。「超絶のオペラ座の怪人」から《美女と野獣》などミュージカル作品の人気曲が、「超絶のスター・ウォーズ」からは《バック・トゥ・ザ・フューチャー》や《インディ・ジョーンズ》など映画を彩る珠玉のテーマが、そして「超絶のボヘミアン・ラブソディ」からクイーンやアバのヒットナンバーが、再びホールに大集合。見逃した方も初めての方も、誰もが息を呑み大興奮の楽しい60分間になること間違いなし。オルガン・ソロはもちろん、恒例の「クリスマス・オルガンコンサート」も手掛ける名手、大木麻理。「普段バッハなどを演奏している時とは勝手が違って、かなり音を作り込む必要があるので大変ですが、もともと映画やミュージカルが大好きなので頑張ります。ロックやポップスの曲を弾くのも至難の業ですが、ザ・シンフォニーホールが誇るスイス・クーン社製のオルガンならきつと大丈夫。ご期待ください！」

[オルガン] 大木麻理

オペラ座の怪人★/美女と野獣★/サウンド・オブ・ミュージック★  
ボヘミアン・ラブソディ★/ダンシング・クイーン★/バック・トゥ・ザ・フューチャー★  
インディ・ジョーンズより「レイダース・マーチ」/スター・ウォーズ★  
★プロジェクトマッピング付き ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

**2024.1/27 (土) 3:00PM**  
全席指定 3,000円(税込) **発売中**  
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール

## 音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」。

### MESSAGE 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール **発売中**



関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

[メッセージ] 中道基夫 (関西学院院長)  
[司式] 福万広信 (関西学院初等部宗教主事)  
[オルガン] 能島垂未 (関西学院オルガン講師)  
[合唱] 関西学院グリークラブ、関西学院聖歌隊  
関西学院大学混声合唱団エゴラド  
関西学院高等部グリークラブ  
関西学院中学部グリークラブ ほか

[器楽] 関西学院大学応援団総部吹奏楽部、  
関西学院ハンドベルクワイア

<第一部> イエス降誕の物語を聖書朗読と音楽で綴り、  
関西学院院長のクリスマスメッセージを聴く。

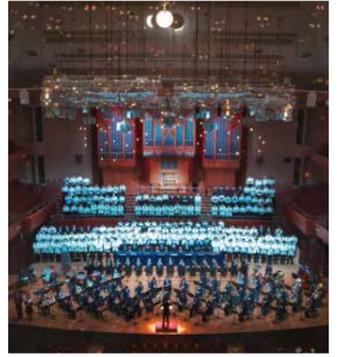
<第二部> 様々な演奏家によるクリスマスコンサート

**2023.12/19 (火) 6:30PM** 当日指定 2,100円  
[お問い合わせ] 関西学院宗教センター 0798-54-6018

関西学院創立100周年を記念して1989年に開始されたこの催しも33回を数えることとなりました。コロナで二年続けて中止となり、昨年は三年ぶりに再開いたしました。まだ出演が叶わなかった団体もありましたので、毎年心待ちにしてくださっていた同窓生やファンの皆様によりやく完全な形でお届け出来ることを心より嬉しく思っております。

関西学院が誇る音楽団体であるグリークラブ、吹奏楽部をはじめ、聖歌隊、混声合唱団エゴラド、ハンドベルクワイア、高等部・中学部グリークラブなど総勢300人を超すメンバーが、イエス降誕の物語を聖書朗読と音楽で綴り広げ、クリスマスメッセージに耳を傾けます。第二部は雰囲気を変えて、各団お得意の演目を披露するコンサートとなり、会場の皆様と歌うコーナーも加わり、クリスマスを感じ、祝うムードが一気に高まります。

関西学院の音楽的才能を結集したクリスマス礼拝&コンサートに、学院の同窓やご家族はもちろん、広く一般の方々のご来場を心よりお待ちしております。



# Shion | 100<sup>th</sup> Anniversary

## Osaka Shion Wind Orchestra 第152回定期演奏会

ポストックが辿るグレインジャーの足跡

2023年1月、そして8月とShionに素晴らしい美しさを与えたダグラス・ポストック。オール・ホルスト・プログラム、オール・スパーク・プログラムと、イギリスの作曲家のマスターワークスを取り上げてきた彼と今回取り組む作曲家は、パーシー・グレインジャーです。

吹奏楽作品をはじめ、多くの作品を残してきたグレインジャー。イギリスの作曲家作品を研究することをライフワークにしているポストックの幅広いレパートリーの中でも、グレインジャーは特に愛する作曲家の一人とされています。

これまでも数多く日本で指揮をしてきたポストックですが、オール・グレインジャー・プログラムは日本では初の試み。

代表作である「リンカーンシャーの花束」は、Shionでも幾度となく取り組んだ一曲であり、ポストックとの共演では更なる魅力を見出すでしょう。

そして、編成の大きさを抑え取り上げられる機会の少ない「ローマの権力とキリスト教徒の心」は、吹奏楽の豊かなサウンドにオルガンの輝かしい響きが増えることにより、壮大な古代ローマの世界が繰り広げられます。

ポストックとShionが辿るグレインジャー作品集、必聴です！

[指揮] ダグラス・ポストック  
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

《オール・グレインジャー・プログラム》  
モルバラ公爵のファンファーレ / 「ワムフレイの若者たち」行進曲 / 子供のマーチ「丘を越えて彼方に」  
ローマの権力とキリスト教徒の心 / スプーンリバー / マーチング・ソング・オブ・デモクラシー / 岸辺のモリー  
コニアル・ソング / リンカーンシャーの花束

**2024.1/28 (日) 2:00PM**  
全席指定 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込) **発売中**  
[お問い合わせ] Shionチケットセンター フリーコール:0800-919-5508 (平日10:00~17:30)  
[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

# TheSymphonyHall × 関西4オケ Pick Up コンサート

## 大阪フィルハーモニー交響楽団

### ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス～メンデルスゾーンへの旅Ⅳ～



音楽監督・尾高忠明とともに取り組んできたシリーズ最終回は、合唱付交響曲「讃歌」。旅好きでそれぞれの土地からインスピレーションを受けた作品を多く残したことにちなみ「メンデルスゾーンへの旅」と銘打ったシリーズは、最終回で地元・ドイツ、ライプツィヒに帰ってくる。信仰心の厚かったメンデルスゾーンが、ゲーテ・ベルクの印刷技術完成400年記念式典(＝聖書出版記念)の作曲を任されたという意気込みが伝わる晴れやかなで力強い作品を、創立50年を迎え意気軒高な大フィル合唱団、充実のソリスト陣とともに演奏し、フィナーレを飾る。

[指揮]尾高忠明 [独唱]盛田麻央(S)、隠岐彩夏(S)、吉田浩之(T)  
[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指導:福島章恭)  
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団  
メンデルスゾーン:  
序曲「ルイ・プラス」op.95/交響曲 第2番 変ロ長調 op.52「讃歌」  
**2024.2/15(木) 7:00PM**  
全席指定 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円  
[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890  
[主催](社)大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール  
一般発売:11/28(火)



## 大阪交響楽団

### 第130回 名曲コンサート 「大阪響の“ニューイヤーコンサート”」



2023・2024シーズンの「大阪響の「ニューイヤーコンサート」」は実に話題性たっぷり！新国立劇場バレエ団指揮者を務める気鋭の富田実里、そして今注目の男性4人組オペラ・ユニット「canto cube(カントキューブ)」が出演するというゴージャスさ。実力派のナイスガイたちによるオペラ・アリアからポップスまで、心しびれるクロスオーバーな歌の世界をご堪能あれ！一方、オーケストラ音楽として存分にお楽しみいただくのはハチャトウリアンの組曲「仮面舞踏会」。名高いワルツをはじめ、アルメニア人ハチャトウリアンならではの民族色が新年を濃密に彩ります。

[指揮]富田実里 [オペラ・ユニット]canto cube《カントキューブ》  
[テノール]隠岐達人★ [バリトン]高橋洋介◆ [バス]後藤春馬◆  
[ピアノ]長井進之介\*  
チャイコフスキー 歌劇「エフゲニー・オネーギン」/ボロネズ/レオンカヴァッロ 歌劇「通化師」  
「ごめんください、皆さまがた」(アローグ)◆/モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より「カタ  
ログの歌」◆/プッチーニ 歌劇「マノン・レスコー」"なんと素晴らしい美人"★/ビゼー 歌劇  
「カルメン」"闘牛士の歌"◆◆/マンシーニ ムーン・リバー★◆◆/サルトリ君と旅立とう  
(Time to Say Goodbye)★◆◆◆/ハチャトウリアン 組曲「仮面舞踏会」  
**2024.1/7(日) [昼の部] 1:30PM [夜の部] 5:00PM**  
全席指定 S 3,500円 A 3,000円 B 1,500円 (楽団WEB前売限定) **発売中**  
[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522  
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 (特別協賛)大和ハウス工業株式会社



## 日本センチュリー交響楽団

### 日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.33



首席指揮者・飯森範親と日本センチュリー交響楽団が挑む「ハイドンマラソン」。  
今回は「ラ・ロクスラーヌ」という愛称で親しまれている第63番、ハイドンがロンドン訪問中に作曲した、ロンドン・セットの1つである第98番をお送りいたします。  
注目すべきは、ハイドンと同時代に活躍したシュターミッツの「バセットホルン協奏曲」。当団首席クラリネット奏者の持丸秀一郎がソロを務めます。深くあたたかいバセットホルンの音色を、ぜひお楽しみください。

[指揮]飯森範親 [バセットホルン]持丸秀一郎  
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団  
ハイドン: 交響曲 第63番 八長調 Hob.I:63「ラ・ロクスラーヌ」  
シュターミッツ: バセットホルン協奏曲 変ロ長調  
ハイドン: 交響曲 第98番 変ロ長調 Hob.I:98  
**2023.12/14(木) 7:00PM**  
全席指定 A 5,000円 B 4,000円 **発売中**  
[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311  
[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団



## 関西フィルハーモニー管弦楽団

### 関西フィル 第343回定期演奏会 『戦慄…衝撃の世紀末サウンド&哀切のラフマニノフ』



名匠の至芸と迫力のサウンド、そして俊英のピアノリズムが満開となる公演。  
「感性、歌心、技術…そのすべてに恵まれた稀有な存在」との高い評価で近年注目を集める逸材、奥井紫麻。彼女のピアノがラフマニノフの傑作(第2協奏曲)で躍動する。  
マエストロ高関健と高らかに奏でるのは、奇才プロコフィエフが描いた壮絶なシンフォニー(第5番)。まるで世紀末を思わせる驚愕のサウンドが激しく会場を揺らすこの大交響曲を、決して聴き逃すべからず。  
さあ、この日は存分に体感するがいい、二人の偉大なるセルゲイを…。

[指揮]高関健 [ピアノ]奥井紫麻  
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団  
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18  
プロコフィエフ: 交響曲 第5番 変ロ長調 op.100  
**2024.2/23(金・祝) 2:00PM**  
全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円  
学生席(25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い **発売中**  
[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911  
[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団  
[特別協賛]タイキン工業株式会社 [協賛]阪急電鉄株式会社/株式会社三晃空調

